



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月8日

上場会社名 株式会社ミツバ

上場取引所 東

コード番号 7280

URL <https://www.mitsuba.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北田 勝義

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 武井 良明 (TEL) 0277-52-0113

四半期報告書提出予定日 2023年2月8日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	237,090	13.5	3,594	1.1	3,862	11.1	△210	—
2022年3月期第3四半期	208,966	8.6	3,555	△11.6	3,476	△16.9	△1,625	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 3,455百万円(△19.6%) 2022年3月期第3四半期 4,295百万円(234.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△19.85	—
2022年3月期第3四半期	△51.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	337,638	89,692	20.5
2022年3月期	342,750	88,201	19.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 69,283百万円 2022年3月期 68,024百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	8.2	8,000	11.3	7,500	△0.4	1,200	—	6.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	45,581,809株	2022年3月期	45,581,809株
2023年3月期3Q	825,783株	2022年3月期	825,524株
2023年3月期3Q	44,756,123株	2022年3月期3Q	44,756,441株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2023年2月8日に、当社ホームページに決算説明資料を掲載する予定です。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は、以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	60,085.90	60,085.90
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期(予想)				60,000.00	60,000.00

(注) 上記のA種類株式の発行数は15,000株であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、依然として続くロシアによるウクライナ侵攻と、中国でのゼロコロナ政策緩和後の感染拡大により、経済回復に再び影響を及ぼしました。国内においては、外需の低迷が下押し要因となるものの、コロナの感染抑制と経済活動の両立が進むもとで持ち直しております。

当社グループが関連する自動車業界では、依然として半導体の供給不足が続く中、コロナ感染の影響が残る中国を除き、高水準の受注残を背景に生産は増加傾向となりました。

このような状況の下、当社グループにおいては、3年度目となる第12次（2020年度-2024年度）中期経営計画について、重点施策である「事業構造改革の推進」、「企業体質の強化」、「次世代に向けた取り組み」を推進し、当第3四半期連結累計期間においては、引き続き、投資の抑制、グローバルでの経費削減等、企業体質の強化に努めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、中国を除いたエリアでの自動車メーカーの生産回復や、アジアエリアでの二輪車メーカーの販売好調、また価格改善活動の継続により、連結売上高は2,370億90百万円（前年同期比13.5%増）と前年同期比で増加しました。また、原材料価格の高止まりは続いているものの、種々のコスト削減の継続により、連結営業利益は35億94百万円（前年同期比1.1%増）と前年同期並みとなりました。連結経常利益は38億62百万円（前年同期比11.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億10百万円（前年同期は16億25百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

事業の種類別セグメント業績は次のとおりです。

輸送用機器関連事業の売上高は2,235億44百万円（前年同期比14.4%増）と上記要因により前年同期比で増加し、セグメント利益は25億6百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

情報サービス事業は、自治体向け、ガス事業者向け、製造業向けのソフトウェア開発・システム販売が堅調に推移したことから、売上高は115億93百万円（前年同期比1.7%増）となり、セグメント利益は7億68百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

その他事業は、主に半導体供給不足による用品販売事業の売上減少により、売上高は48億59百万円（前年同期比5.2%減）となり、セグメント利益は3億3百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態に関する分析

(資産・負債・純資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計は、3,376億38百万円（前連結会計年度末3,427億50百万円）となり、51億11百万円減少しました。流動資産は2,068億80百万円となり1億68百万円増加し、固定資産は、1,307億58百万円となり52億80百万円減少しました。

流動資産の増加は、受取手形、売掛金及び契約資産が11億2百万円増加したことが主な要因です。固定資産の減少は、機械装置及び運搬具が32億86百万円、投資有価証券が9億51百万円、それぞれ減少したことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計は、2,479億46百万円（前連結会計年度末2,545億49百万円）となり、66億2百万円減少しました。流動負債は、1,252億59百万円となり98億12百万円増加し、固定負債は1,226億87百万円となり164億14百万円減少しました。

流動負債の増加は、支払手形及び買掛金が16億92百万円、短期借入金が89億71百万円、それぞれ増加したことが主な要因であり、固定負債の減少は、長期借入金が164億28百万円減少したことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、896億92百万円（前連結会計年度末882億1百万円）となり、14億90百万円増加しました。これは、為替換算調整勘定が31億44百万円増加したことが主な要因です。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ37億91百万円減少し694億75百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、140億4百万円（前年同期は37億66百万円）となりました。この主な要因は、減価償却費127億45百万円、税金等調整前四半期純利益38億71百万円です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、70億30百万円（前年同期は48億96百万円）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出69億41百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、109億39百万円（前年同期は50億1百万円）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出79億60百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、中国を除いた各エリアでの自動車メーカーの生産回復や、アジアエリアにおける二輪車メーカーの好調な販売状況を背景とした受注回復に加え、販売価格改善活動の継続による採算改善効果等により増収増益となりましたが、中国における新型コロナウイルス感染症拡大の影響や、依然として継続している半導体供給不足により、自動車メーカーの生産回復が見通せない状況となっており、売上高、営業利益は前回発表予想を下回る見込みです。また、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についても、円高進行による為替差損計上により前回発表予想を下回る見込みです。この様に当社連結業績を下押しする要因が継続していることから、2022年11月9日に公表いたしました2023年3月期通期連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2023年2月8日）公表の「営業外費用（為替差損）の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,556	70,951
受取手形、売掛金及び契約資産	50,915	52,017
商品及び製品	14,115	13,226
仕掛品	5,735	6,789
原材料及び貯蔵品	43,072	42,984
その他	18,333	20,929
貸倒引当金	△17	△18
流動資産合計	206,711	206,880
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	81,160	81,781
減価償却累計額	△48,971	△50,234
建物及び構築物（純額）	32,188	31,547
機械装置及び運搬具	173,317	173,434
減価償却累計額	△130,845	△134,248
機械装置及び運搬具（純額）	42,472	39,185
工具、器具及び備品	52,632	52,499
減価償却累計額	△47,649	△47,973
工具、器具及び備品（純額）	4,983	4,525
土地	7,824	7,720
リース資産	8,970	9,353
減価償却累計額	△3,694	△4,501
リース資産（純額）	5,276	4,851
建設仮勘定	6,639	5,928
有形固定資産合計	99,385	93,759
無形固定資産		
ソフトウェア	1,238	1,036
ソフトウェア仮勘定	75	3
その他	2,102	2,731
無形固定資産合計	3,416	3,771
投資その他の資産		
投資有価証券	15,882	14,931
長期貸付金	2,384	2,452
繰延税金資産	1,377	1,293
長期前払費用	1,488	1,565
退職給付に係る資産	11,331	12,142
その他	771	843
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	33,236	33,227
固定資産合計	136,038	130,758
資産合計	342,750	337,638

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,382	27,075
短期借入金	56,714	65,685
1年内償還予定の社債	30	30
未払金及び未払費用	17,207	19,213
未払法人税等	1,856	1,847
賞与引当金	3,392	1,814
役員賞与引当金	90	19
製品保証引当金	1,312	1,347
和解金等引当金	300	300
事業構造改善引当金	2,420	650
その他の引当金	36	52
その他	6,704	7,222
流動負債合計	115,447	125,259
固定負債		
社債	1,045	1,030
長期借入金	121,827	105,399
長期末払金	22	6
繰延税金負債	7,498	7,713
退職給付に係る負債	2,595	2,842
その他	6,112	5,695
固定負債合計	139,101	122,687
負債合計	254,549	247,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	33,471	32,570
利益剰余金	27,199	26,855
自己株式	△603	△603
株主資本合計	65,067	63,821
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	582	△158
為替換算調整勘定	4,650	7,794
退職給付に係る調整累計額	△2,276	△2,174
その他の包括利益累計額合計	2,956	5,461
非支配株主持分	20,177	20,408
純資産合計	88,201	89,692
負債純資産合計	342,750	337,638

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	208,966	237,090
売上原価	181,727	207,974
売上総利益	27,239	29,116
販売費及び一般管理費	23,684	25,521
営業利益	3,555	3,594
営業外収益		
受取利息	381	708
受取配当金	395	425
持分法による投資利益	73	24
為替差益	526	585
その他	781	808
営業外収益合計	2,158	2,552
営業外費用		
支払利息	1,398	1,502
その他	837	782
営業外費用合計	2,236	2,284
経常利益	3,476	3,862
特別利益		
固定資産売却益	144	123
投資有価証券売却益	800	91
その他	29	4
特別利益合計	974	219
特別損失		
減損損失	0	9
災害による損失	1,265	—
固定資産除却損	40	56
事業構造改善費用	309	123
取引調査関連損失	14	5
その他	142	15
特別損失合計	1,770	210
税金等調整前四半期純利益	2,680	3,871
法人税等	3,216	2,868
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△535	1,002
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,090	1,213
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,625	△210

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△535	1,002
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△651	△739
為替換算調整勘定	5,487	2,756
退職給付に係る調整額	28	89
持分法適用会社に対する持分相当額	△33	345
その他の包括利益合計	4,830	2,452
四半期包括利益	4,295	3,455
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,407	2,294
非支配株主に係る四半期包括利益	1,888	1,160

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,680	3,871
減価償却費	12,366	12,745
受取利息及び受取配当金	△776	△1,134
支払利息	1,398	1,502
持分法による投資損益(△は益)	△73	△24
有形固定資産売却損益(△は益)	△90	△113
売上債権の増減額(△は増加)	6,208	845
棚卸資産の増減額(△は増加)	△7,027	1,509
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,098	△567
その他	△1,723	△2,025
小計	7,864	16,609
利息及び配当金の受取額	879	1,257
利息の支払額	△1,225	△1,394
法人税等の支払額	△3,752	△2,467
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,766	14,004
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,207	△6,941
有形固定資産の売却による収入	583	344
投資有価証券の取得による支出	△37	△44
投資有価証券の売却による収入	1,767	215
貸付けによる支出	△1,360	△1,388
貸付金の回収による収入	1,382	1,413
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△262
その他	△24	△366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,896	△7,030
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	401	△1,099
長期借入れによる収入	—	500
長期借入金の返済による支出	△3,166	△7,960
社債の償還による支出	△15	△15
配当金の支払額	△450	△1,035
非支配株主への配当金の支払額	△353	△621
セール・アンド・リースバックによる収入	61	1,042
その他	△1,479	△1,749
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,001	△10,939
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,522	173
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,608	△3,791
現金及び現金同等物の期首残高	77,389	73,267
現金及び現金同等物の四半期末残高	72,780	69,475

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当社の連結子会社でありました株式会社大嶋電機製作所の全株式を譲渡したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	194,851	9,825	4,289	208,966	—	208,966
セグメント間の内部売上高 又は振替高	560	1,572	837	2,971	△2,971	—
計	195,412	11,397	5,127	211,938	△2,971	208,966
セグメント利益	2,467	726	353	3,547	7	3,555

(注) 1. セグメント利益の調整額7百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	223,049	9,986	4,054	237,090	—	237,090
セグメント間の内部売上高 又は振替高	494	1,607	805	2,907	△2,907	—
計	223,544	11,593	4,859	239,997	△2,907	237,090
セグメント利益	2,506	768	303	3,578	16	3,594

(注) 1. セグメント利益の調整額16百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業	
日本	55,750	9,825	4,289	69,866
米州	43,131	—	—	43,131
欧州	13,966	—	—	13,966
アジア	35,939	—	—	35,939
中国	46,063	—	—	46,063
顧客との契約から生じる収益	194,851	9,825	4,289	208,966
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	194,851	9,825	4,289	208,966

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業	
日本	57,283	9,986	4,054	71,324
米州	52,566	—	—	52,566
欧州	16,085	—	—	16,085
アジア	53,595	—	—	53,595
中国	43,517	—	—	43,517
顧客との契約から生じる収益	223,049	9,986	4,054	237,090
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	223,049	9,986	4,054	237,090